

## 学位論文について

### 【学位論文の種類・要件】

#### 1) 修士論文

人文社会科学の最新の理論・方法論に基づいて、専門のテーマ等に関して学術的に論を展開したオーソドックスな形式の論考であること。

#### 2) 個別課題報告書

修士論文の研究手法を踏まえつつ、文化の振興、経済・産業の活性化等に関わる特定の課題の発見・分析・解決策の提示等に重点を置いた報告書形式の論考であること。

### 【学位論文の提出資格】

弘前大学大学院学則第 28 条および人文社会科学研究科規程第 18 条に定めるとおり、所定の期間在学し、必要な研究指導を受け、かつ、人文社会科学研究科規程第 8 条に定める授業科目について、所定の 30 単位以上を修得した者又は修得見込の者。

### 【提出書類】

弘前大学学位規則第 5 条の定めにより、以下のとおりとする。

- ① 学位論文審査願 1部 ② 学位（修士）論文目録 1部 ③ 履歴書 1部
- ④ 学位（修士）論文要旨 2部（1部コピー可） ⑤ 学位（修士）論文 2部
- ⑥ 参考論文（ある場合） 2部（1部コピー可） ⑦ 研究倫理教育受講修了証書 1部

### 【注記】

- 1) 学位論文はA4版とし、2部提出であるが、1部はゼロックス等長期保存に耐えるコピーでもよい。
- 2) 用紙、様式（縦書き・横書き）等は、指導教員の指示に従うこと。  
なお、論文には厚みのある表紙をつけ、研究題目・研究科・専攻・コース・研究指導分野・学籍番号・氏名を記入した用紙を貼ること。
- 3) 履歴事項（大学・学部・学科（課程）、年月日、職場の名称等）は省略せずに記入のこと。
- 4) 提出期日に遅れた場合、論文の審査対象から除外するので、早めに作成にかかること。
- 5) 2020年度以降入学者については、学位（修士）論文要旨を日本語と英語の二カ国語で作成し、提出すること。

### 【履歴書の記載方法】

学位論文提出書類の内、「履歴書」の記載にあたっては、下記の記入例により記載すること。  
記入例

|         |    |                  |       |
|---------|----|------------------|-------|
| 令和〇〇年3月 | 〇日 | 〇〇県立〇〇高等学校       | 卒業    |
| 令和〇〇年4月 | 〇日 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科（課程） | 入学    |
| 令和〇〇年3月 | 〇日 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科（課程） | 卒業    |
| 令和〇〇年4月 | 〇日 | 弘前大学大学院人文社会科学研究科 |       |
|         |    | 人文社会科学専攻         | 入学    |
| 令和〇〇年3月 | 〇日 | 弘前大学大学院人文社会科学研究科 |       |
|         |    | 人文社会科学専攻         | 修了見込み |

※入学、卒業の日付は、それぞれの出身校の入学式並びに卒業式の日付にすること。

※留学生の場合は、西暦で記載のこと。

### 【学位論文の審査方法】

学位論文の審査は、論文の審査及び最終試験による。最終試験は、論文の審査が終わった後に

学位論文を中心として、これに関連のある科目について、口述試験により行う。

**【学位論文の審査基準】**

学位論文の審査及び最終試験は、次の基準にそって行う。

1) 学問的専門性

人文社会科学の学問的専門性に立った論考としての形式・内容を備えていること。

2) テーマ設定の適切性

研究史の動向を踏まえて、論考のテーマが適切に設定され、論考の意図や目的が明確に読み取れること。

3) 論理構成

論理構成がしっかりしており、妥当な結論が導かれていること。

4) 独創性

修士論文では、テーマ・問題設定、研究方法、結論等、論考の中に新しい知見が示されており、研究としての独自の意義が認められること。個別課題報告書では、特定の課題の発見・分析・解決策の提示等において、何らかの独自の意義が見られること。

5) 論述内容、資料等の引用の適切性

論述内容、資料等の引用が適切で、著作権や人権等に関わる研究倫理上の問題に抵触していないこと。

**【学位論文の公開】**

審査に合格した学位論文は、日本語と英語の二カ国語による要約を本研究科のホームページで公開するものとする。